

FDA 便り～働くを楽しむ～ 第24号

2024年(令和6年)10月15日



特定非営利活動法人
FUTURE DREAM ACHIEVEMENT

FDA 川崎事業所 が資格取得をサポート!

この度 FDA 川崎事業所では、利用者の皆様がより効果的にスキルや資格を習得できるよう、8月1日より500以上のカリキュラムが受講可能なeラーニングシステムを導入いたしました。

<資格対策講座>

- ・ビジネス実務マナー
- ・秘書検定
- ・日商簿記
- ・ITパスポート
- ・MOS (Excel, Word)
- ・TOEIC

資格対策講座以外にも、ITスキル、ビジネスマナー、コミュニケーションスキルなど500以上の多彩なカリキュラムがあり、一人一人のニーズに合わせて学ぶことが可能です。初心者から上級者まで、自分のペースで学べるため、無理なくスキルアップができます。

<プログラムの特徴>

- ① 豊富なラインナップ(今後もコンテンツが追加される予定です)
- ② 初心者にもわかりやすい解説
- ③ 「試験なし」での資格取得が可能な試験免除プログラム
- ④ 通いなれた事業所内で受験可能なシステム

eラーニングによる資格・スキル習得+FDA訓練によって、一緒に就職を目指しましょう!

N社様に就職!～卒業生体験記～

A.Mさん(所属:就労継続支援B型<川崎>)

FDAに通うことになったきっかけは、高校の時の実習先が自分に合わず、FDAという移行事業所があることを先生に教えていただいたことです。通う前は、不安もありつつ楽しみという気持ちでした。

FDAに通い始めた頃は何をしたらよいのか分からない時がありましたが、卒業する頃には色々な作業ができるようになったので、その点は自分にとっての変化だと思っています。活動の中で良かったことは、話し相手のできたことと、2カ所実習に行けたことです。

就職が決まった時は、うれしい気持ちと、利用者の方と離れる寂しい気持ちがありました。

就職先では、はがきの宛名シール貼り、発送、書類の整理、管理台帳のデータ入力等を行っています。職場での対人関係は、仕事上のやり取りが殆どになりますが、問題なくコミュニケーションが取れています。

今後の目標は、「周りを見て自分から声を掛けられる人になること」です。

卒業生の撮影作品 タイトル「猛暑を乗り越え」

I.Yさん(所属:就労移行支援<川崎>)



東京新聞様、取材報告

就労継続支援 B 型<溝の口>

8月20日、FDA 着火剤製作について、溝の口事業所にて東京新聞様の取材を受けました。日頃と変わらない作成状況ですが、利用者様は少し緊張されたご様子でした。

着火剤作成の工程は

- ① オガクズを細かくするミキサー作業。
- ② ①で細断したオガクズを粉末状にするミキサー作業。
- ③ ロウソクを湯煎で溶かし、オガクズと混ぜ合わせる。
- ④ 型に入れ導火線を取り付ける。
- ⑤ 完成品を型から取り外し検品。(質量、導火線の抜けチェック)
- ⑥ 完成品を封入、封緘。

※事前準備としてロウソクの細断、導火線作成も行います。

毎日、作成チームメンバーで各作業の分担を話し合い、作業を開始しています。重さが足りない、形が崩れてしまったなど、上手くできなかった物も粉碎して再作成(リユース)を行っています。

取材の記事は8月28日(木曜日)の川崎版に掲載されました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。これからも、心を込めた丁寧な作業で取り組んでいきます。

記事はこちら→

https://www.tokyo-np.co.jp/article/350203?rct=m_sdgs

.....
.....

最近入所された利用者さんにインタビュー」

Nさん (所属:就労継続支援 B 型<溝の口>)

8月末から溝の口事業所に通い始めました、Nです。

FDA は区役所のデイケアの職員さんから紹介して頂きました。面接練習や履歴書の書き方など、就労支援に積極的で、就職活動のアドバイスもして頂けると体験時に教わりFDAを選びました。まず一にも二にも生活リズムを整えて、決められた作業をしっかり行っていきたくと思っています。

溝の口事業所は、オフィスビルの一角にあり、学習塾のような雰囲気、利用者さんも職員さんもフレンドリーで、気軽に話せる環境だと思います。

ぜひ一度、ご見学にいらっしゃって下さい!

「福祉実習生の受け入れを行いました」

FDA では定期的に社会福祉士・精神保健福祉士を目指す学生さんの実習の受け入れを行っております。

<T・Yさん(女性)>

FDA は、とても明るい雰囲気でした。作業をする時間は作業に集中する、休憩時には利用者の方々と職員の方々とで食べ物の話で盛り上がるなど、メリハリがあると感じました。

実習で学びになったことは、利用者の方々との関わり方や声かけ一つで利用者様のやる気につながることです。その後の作業や就労に向けて前向きに行動することができるようになるなど、利用者の方々ひとりひとりに合わせた声かけをしていくことの大切さを学ぶことができました。

今後は、次の実習や就職した際に今回の実習で学んだことを生かし、利用者の方々一人一人に合わせた関わり方ができるように努めていきたいです。

<T・Nさん(女性)>

FDA では初めて訪れた時から職員の方も利用者の方も優しく話しかけて下さり、困っていると教えて下さり距離が近くアットホームな居心地の良い雰囲気でした。

実習での学びですが、FDAの3つの事業所はそれぞれカリキュラムに特徴があり、利用者の方の可能性を広げてくれる場であることを知ることができました。また実際に現場を見て、職員の方が信頼関係を築くことで利用者の方が変わっていくことを知ることができました。

ここで学んだことは、まず学校に帰ってクラスメートに共有したいと思います。そして、福祉の現場で働く事になった際は、利用者の方と信頼関係を少しずつ築き、わからないことは素直にお尋ねして行く姿勢を忘れないようにしたいです。